



ルー
テル

藤が丘だより

発行 月報委員会

発行日 2025年4月6日

No. 131

だから、キリストに結ばれる人はだれでも、
新しく創造された者なのです。

コリントの信徒への手紙二 5章17節 ・ 新共同訳



わたしの隣人に対して、一人のキリストになろう

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。

ローマの信徒への手紙 12章15節

ルター派キリスト教会 日本福音ルーテル藤が丘教会 牧師 佐藤和宏
〒227-0043 横浜市青葉区藤が丘2-31-21 tel 045-973-2729/ fax 045-439-7009
URL:<https://www.jelc-fujigaoka.org/> mailto: fujigaoka@jelc.or.jp



アメリカの神学者クラドックは言っています。「このたとえの焦点は父親にある」と。にもかかわらず私たちは今日のたとえを聞く時、その焦点を放蕩息子と呼ばれた息子に向けてしまうでしょう。父親から離れて、ぜいたくに遊び暮らし、一転一文なしになって、父のもとに帰る息子。ですから人はこの息子に焦点をあてたくなるものです。

今日のたとえをはじめ、ルカによる福音書 15 章にみる 3 つのたとえが、「見失った」「無くした」「失われた」と否定的に表現されていますが、マタイ 20 章の「ぶどう園の労働者のたとえ」もまた、同じような傾向があるということに気づかされたのでした。これらのどこに共通点があるかと言いますと、それはいずれも私たち人間の思いに従って解釈をし、それぞれの小見出しが作られているということです。

今日のたとえを含めた 3 つのたとえについても同じように言えるのです。クラドックが言っているように、「見失った」「無くした」「失われた」とは、私たち人間の目線に従ったものに過ぎず、主イエスがこれらのたとえを通して言われているのは、「見いだされた喜び」についてなのです。「見いだされた羊のたとえ」「見つかった銀貨のたとえ」「見つかった息子のたとえ」。これこそ聖書が告げていることにほかならないのです。ですから、今日の福音は父親が「まだ遠く離れていたのに、父親は息子を見つけて、憐れに思い、走り寄った」。ここにあるとわかるのです。人が悔い改めたから救いが訪れるのではなく、憐れみと愛に基づいて走り寄る神によって、救いは訪れるということなのです。

ChatGPT (対話しているかのように質問し

た内容に回答する対話型のサービス) に「物事を否定的に考えてしまう人」とを調べた結果、次のようがありました。

「否定的に考えてしまう原因は、過去の経験や環境、あるいは自己評価が低かったりすることから来ることが多いです。また、物事を過剰に心配してしまうことも関係しています」。もし、否定的な思考を改善したいと思うなら、以下のようなアプローチが有効かもしれません：ポジティブな面を探す：何か悪いことがあっても、良い点や学べる点を意識的に見つけるようにする。／自分を責めない：失敗したりうまくいかなかったときに、自分を責めすぎないように心がける。」この ChatGPT の回答は、私たちが聖書を読む際、また信仰に生きようとする際に重要となってくるのではないかと思うのです。否定的に考えてしまうことを改善するには、「ポジティブな面を探す」「自分を責めない」とあります。「ポジティブな面」は、聖書にたくさん記されていると言えるでしょう。「極めて良い」「あなたと共にいる」「あなたを見捨てない」と旧約の時代から約束されていることなのです。さらに主イエスは、「インマヌエル」、神が我々と共におられるために、私たちの間に来てくださいましたし、私たちの罪の赦しのために、十字架の死を遂げてくださったのです。これ以上に私たちの存在を肯定することは世の中にはないのです。ですから自分を責める必要もない。キリスト教信仰は、このように人を絶対的な肯定の中に導く神が、走り寄って来てくださるのを確信することなのです。この神によって、私たちはすべて平安のうちに歩み始めることができるのです。(四旬節第 4 主日)



●大和先生をお迎えして

江〇〇子

藤が丘教会で実習をなさった大和知子神学生が3月2日、東京教会での教職按手授任式で牧師になられたことを心より嬉しく思います。藤が丘教会での実習中は9時前には教会にいらしてCSに参加。礼拝後は女性会をはじめ、委員会にも出席してくださいました。

いつも冷静でいらっしゃる大和先生ですが、大変な毎日であった事を微塵をも見せずにいらした中に深い信仰と神様への祈りがあったのではないかと思います。

3月16日、大和先生をおむかえしての礼拝説教、礼拝後には先生を囲んでの昼食会があ

りました。生憎の冷たい雨の日曜日でしたが、悪天候の中、教会に来ることを躊躇したけど、先生の説教「今日も明日も、その次の日も」が心にしみましたというお声が多々ありました。

昼食会は参加者18名で先生へのメッセージも頂き、和やかな会となりました。

4月から久留米教会、田主丸教会、二日市教会へ赴任される大和先生、そしてご家族の皆様には神様からの大いなる祝福がありますように～。

【写真は、礼拝後の記念撮影】

●虹のひろばが開催されました。



3月の『虹のひろば』には、オペラ歌手の田辺いづみさんをお迎えしました。61名の方々が集まり、歌あり笑いあいの楽しい90分でした。

何と言っても、田辺さんの温かいお人柄が光る虹のひろばでした。気がつけば、歌集を配り、お茶を配り空いたコップを集めるなど、スタッフと一緒に、時にはスタッフ以上にゲストの方々を歓待し、皆さんを魅了していました。

誰もが次にお会いする時をすでに心待ちにしている、そんな心温まる時間でした。

●女性会だより

3月16日 女性会 参加者11名
司会、祈り ○井姉
こども讃美歌 10番

1 聖書の学び

創世記7章1節～15節 多様性の虹
そもそも神は多様な世界を望む。神は「清いもの」と「清くないもの」を残す世界を選ばれた。私達の見ると神の見るとは違う。私達の判断と神の判断は違う。キリストを信じる者も信じない者も含めて、祈ることが教会の大切な務めである。

多様性とは色々な人がいるし、色々な考えもある。全てを神は認め、その存在をきわめて良しとした。現代はハラメントと言う言葉があり、関係性を築くことが難しくなったが、神は実は「私」も「あなた」も作って下さった。

2 女性会例会

- ①世界祈禱日の報告は5月の例会で。
- ②春の会長会 4月12日聖パウロ教会にて10時半～15時まで。午後はベタニヤホーム、菊川保育園見学（聖パウロ教会に隣接している。）
- ③在り方検討委員会報告（2月20日Zoom会議）
2025年度は東教区女性会休会教会なし。
今年度計画されている地区での集まりの簡単な説明

次回は5月18日

今月、受洗記念日を迎えた方々

1日:○池○美子姉 6日:○瀬○恵姉、内○○明兄
7日:○ラダ○花○姉 8日:吉○○人兄 9日:○田クニ○姉 10日:○田○子姉、小○○子姉
11日:○野○治先生、○林○実姉、山○○司兄、○井○姉、○林○和兄、○久保○子姉 12日:○野○子姉、○野○兄 14日:○田○兄、田○○子姉、○山○姉、○木○子姉、○藤○理姉
15日:○野○佳子姉、上○○秀兄、三○○葉姉
内○○一兄、勝○○郎兄
20日:○元ゆり○姉
21日:○井○子姉
22日:○山○○み姉
23日:○井○姉



おめでとうございます。

わたしの隣人に対して、一人のキリストになろう

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」

ローマの信徒への手紙12章15節

●藤が丘教会の情報は、右のQRコードから



●シリーズ・ロウソク物語

私たちの礼拝に欠かせないものはいくつかありますが、その一つ「ロウソク」について全日本ロウソク工業会のパンフレットから、シリーズでご紹介いたします。

【第1回・ロウソクの歴史】

起源：蠟（蜜蠟）や脂肪に木の皮、ぶどうのつるやその他木片などを束ねた松明（たいまつ）から発達したものと考えられ、古くはエジプト人やギリシア人に知られ、蠟製の小神像やローマ神の死面も有名であり、蜜蠟をパピルス草や藁の葉を束ねたものに塗ったロウソクは、すでに紀元前3世紀には存在していたと考えられています。



スマートフォンで、こちらのQRコードを読み込むと、教会のさまざまな情報を、確認出来ます。